

別紙 漏れバケツ調査結果概要1/2

① 調査の概要

海士町版産業連関表の作成にあたり、島内71企業（個人事業主含みます）に調査協力をいただきました。調査の対象とした期間は、平成27年（2015年）の一年間のお金の流れを調べています。

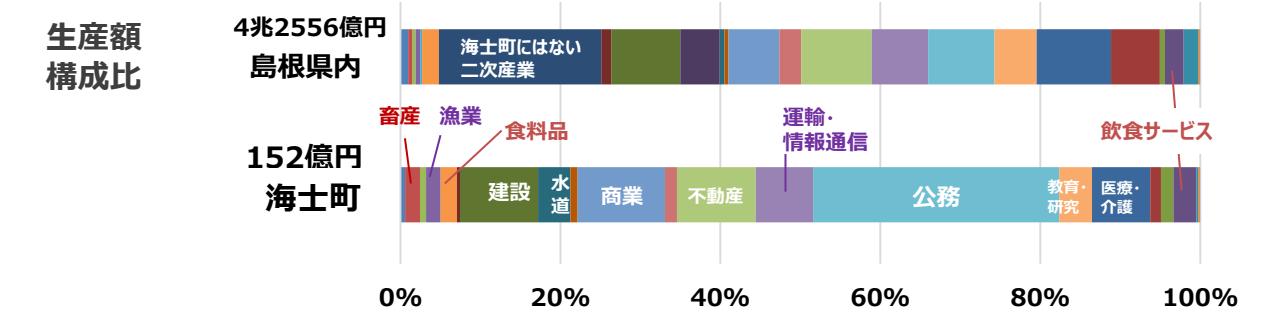
産業連関表は、企業部門の経済動向を数値化した資料ですので、島内の経済を構成している企業部門と家計部門の2つのうち、片方が見えたこととなります。また、産業連関表は島内の産業分野別の経済規模やお金の流れの一覧表です。（産業連関表は裏面に記載しております）

今回の調査で見えた、海士町内の産業の形と漏れバケツの現状について、そして、調査結果を基にこれから取り組む内容について記載しております。

② 海士町の産業構造

●海士町生産額152億円

海士町の産業全体の生産額は152億円あることがわかりました。島根県内の生産額と比較すると、県内の0.4%程度の経済規模になります。また、産業分野ごとの大きさを見てみると公務（役場など）の割合が30.8%と最も高く、次いで商業10.9%、建設業9.8%となっています。全体に占める公務の割合が高いのが海士町の特徴といえます。



●一次産業は全体の5%

一般的な海士町のイメージは、自然豊かで一次産業が盛んな島である。という印象を持つ方が多いと思いますが、生産額ベースではどうでしょう？右の表では海士町の一次産業が全産業に占める割合は5.0%だとわかります。意外に少ない印象を受けますが、島根県と比較すると2倍近い数値です。島根県全体の産業構造と比べ海士町は2倍近く一次産業が盛んな島だと言えます。

	一次産業	二次産業	三次産業
島根県	2.7%	23.8%	73.5%
海士町	5.0%	2.4%	92.6%

●島内企業の取引額64億円、雇用者所得38億円

裏面の海士町版産業連関を使い算出すると、島内企業が1年間に取引した経済活動が約64億円あることが計算できます。

また、企業から雇用者へ支払われた雇用者所得は約38億円あることもわかります。海士町が生産年齢人口(高校生を除く)の1,003人で割ると、一人当たり約380万円となります。

③ 外貨獲得と漏れバケツ

海士町はこれまで外貨獲得に向けて多くの施策を打ってきました。その効果もあり多くの外貨を獲得しています。

島に入ったお金は島内の企業間でグルグルと循環した方が、島内経済に良い効果がありますが、残念ながら島の外へお金は出ています。

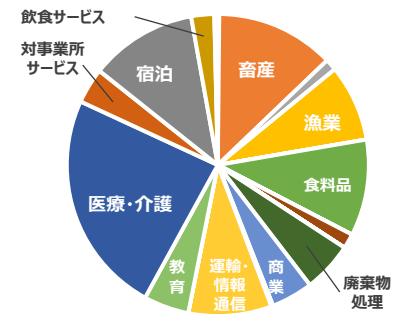
●外貨獲得額は20.6億円

外貨獲得額の上位は、畜産業2.6億円、宿泊業2.4億円、食料品（食料加工品）2.1億円となっています。（医療・福祉は、医療保険や介護保険が含まれており割合が高くなっています。）

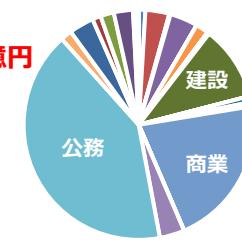
●お金の漏れは50.6億円

各部門でお金の流出額を比較したところ、流出額が一番大きいのは公務の20.9億円。続いて商業10.7億円、建設業5.3億円となっています。「②海士町の産業構造」で説明した生産額の上位3部門が流出額でもトップ3を占める結果となりました。

●外貨獲得額 約20.6億円



●お金の漏れ 約50.6億円



部門名	移輸入(億円)	構成比
公務	20.9	41%
商業	10.7	21%
建設	5.3	10%
漁業	2.0	4%
医療	1.8	4%
運輸・情報通信	1.8	4%
飲食サービス	1.5	3%

④ 対策

●海士にあるものは置き換え、ないものは生み出す

漏れバケツの現状を深掘りすると島の構造的問題が見えてきます。島の二次産業は島根県と比較しても極端に生産額が小さく島内で生産していない商品の仕入れなどで必然的にお金は外へ出ていく構造になっています。この構造的問題を解消するため、島にない製品やサービスを新たに生み出すことに力を入れていきます。

また、お金の漏れの上位は公務（役場など）です。まずは行政から島にある製品で島外から仕入れているものは積極的に島内製品に置き換え、漏れ穴を小さくしていくことに取り組みます。そして、その動きを他の部門へも広げていきたいと考えています。

⑤ 今後の取り組み（海士町版リーサス(仮称)の構築）

今後は、海士町のあらゆる情報を見える化できる「海士町版リーサス(仮称)」に産業連関表のデータも引継ぐ予定です。また、島民の新たな挑戦をサポートするために活用していく予定です。

※「海士町版リーサス(仮称)」とは

海士町の人口構成、経済状況、教育システム、産業構造、観光事業及び福祉体制などの現実を詳細かつ正確に「見える化」するシステムです。来年度から海士町役場内での活用に留まらず、島内住民や事業所・団体、島外の島内就職希望者などへ向けた情報公開をしていく予定です。

別紙 漏れバケツ調査結果概要2/2

海士町版産業連関表 (2015)

単位：百万円

	1次産業					2次産業				3次産業														内生部門計	町内最終需要計	町内需要合計	移輸出	最終需要計	需要合計	(控除) 移輸入	最終需要部門計	海士町生産額		
	耕種農業	畜産	林業・農業サービス	漁業	その他一次産業	食料品	海士町に存在しない二次産業	その他二次産業	建設	電力	ガス・熱供給・水道	廃棄物処理	商業	金融・保険	不動産	運輸・情報通信	公務	教育・研究	医療・福祉	対事業所サービス	宿泊業	飲食サービス	対個人サービス										事務用品	分類不明
1次産業	2	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3	5	0	0	0	16	81	97	3	84	100	-10	74	90
畜産	1	113	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	120	-23	97	261	238	358	-78	160	280	
林業・農業サービス	7	2	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	21	74	96	26	100	121	-3	97	118	
漁業	0	0	0	62	0	57	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	0	0	0	122	18	140	169	187	309	-34	154	276	
その他一次産業	0	0	0	0	0	0	0	1	5	0	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42	-5	37	0	-5	37	-37	-42	0	
2次産業	0	1	1	3	0	26	0	0	0	0	0	596	0	0	12	1	0	29	1	32	149	1	0	0	853	-13	840	212	200	1052	-741	-541	312	
海士町に存在しない二次産業	20	89	6	26	0	2	0	6	385	0	71	8	452	1	3	111	167	8	120	42	11	41	4	14	1587	-402	1185	0	-402	1185	-1185	-1587	0	
その他二次産業	0	0	0	11	0	0	0	7	111	0	2	1	6	2	0	10	54	7	4	2	1	1	0	4	224	-64	160	33	-31	193	-134	-165	59	
建設	0	0	0	0	0	0	0	0	247	0	26	1	4	1	52	8	83	6	3	0	1	0	0	0	435	1049	1484	0	1049	1484	0	1049	1484	
電力	5	0	1	3	0	12	0	1	5	0	18	4	15	1	6	10	33	13	13	1	8	15	1	0	163	0	163	0	0	163	-163	-163	0	
ガス・熱供給・水道	0	0	0	1	0	4	0	0	1	0	45	1	3	0	1	6	21	6	11	1	5	16	2	0	124	490	614	0	490	614	0	490	614	
廃棄物処理	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	2	95	3	2	0	5	2	0	0	112	-74	38	111	37	148	-10	27	138	
商業	5	1	3	7	0	5	0	2	34	0	11	3	16	1	2	23	59	7	42	4	13	26	2	6	269	1417	1686	92	1509	1777	-115	1394	1663	
金融・保険	0	0	1	1	0	0	0	0	23	0	2	1	10	9	78	12	124	1	4	1	2	1	0	0	269	-23	246	4	-19	251	-22	-40	229	
不動産	3	0	0	0	0	13	0	0	14	0	4	0	22	2	9	42	3	19	12	5	8	21	2	0	179	1320	1499	0	1320	1499	0	1320	1499	
3次産業	2	3	1	4	0	2	0	1	26	0	32	7	40	10	6	198	250	18	22	6	14	9	3	1	657	427	1084	183	610	1267	-175	435	1092	
運輸・情報通信	2	3	1	4	0	2	0	1	26	0	32	7	40	10	6	198	250	18	22	6	14	9	3	1	657	427	1084	183	610	1267	-175	435	1092	
公務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	4679	4681	0	4679	4681	0	4679	4681	
教育・研究	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	0	0	10	1	0	2	0	0	0	0	0	20	504	524	100	604	623	0	603	623	
医療・福祉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	28	0	0	0	0	0	0	29	594	623	492	1086	1115	-7	1079	1108	
対事業所サービス	7	1	4	11	0	29	0	2	52	0	64	6	75	11	20	161	293	17	48	26	29	12	3	0	872	-503	369	78	-425	447	-242	-667	205	
宿泊業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	236	236	236	0	236	236	
飲食サービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	2	1	0	0	0	15	373	387	51	423	438	-3	420	435	
対個人サービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2	0	11	0	2	1	5	0	24	21	45	7	28	53	-8	20	45	
事務用品	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	183	0	0	2	15	1	3	0	0	0	0	0	208	-183	24	0	-183	24	0	-183	24	
分類不明	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	8	3	11	0	3	11	-4	-1	7	
内生部門計	53	211	29	131	0	157	0	22	907	0	314	33	1426	38	178	608	1200	107	371	90	137	303	25	24	6369	9759	16128	2058	11817	18187	-2970	8847	15216	
家計外消費支出 (行)	0	3	8	1	0	56	0	0	24	0	8	3	5	2	3	11	41	3	8	3	0	4	0	0	183									
雇用者所得	26	5	58	86	0	86	0	12	391	0	68	40	145	63	22	190	1226	496	655	86	85	70	21	0	3834									
営業余剰	0	27	8	48	0	-32	0	20	65	0	155	38	36	119	766	158	0	1	25	16	10	27	-5	0	1484									
資本減耗引当	12	1	2	9	0	1	0	3	56	0	78	16	33	5	483	96	0	8	47	5	4	20	3	0	882									
資本減耗引当 (社会資本等減耗分)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2210	5	0	0	0	0	0	0	2215									
間接税 (関税・輸入品商品税を除く。)	2	35	13	1	0	81	0	1	40	0	13	8	18	2	47	32	4	3	16	5	0	10	1	0	332									
(控除) 経常補助金	-3	-2	0	0	0	-38	0	0	0	0	-22	0	0	0	0	-5	0	0	-13	-1	0	0	0	0	-84									
粗付加価値部門計	37	69	89	145	0	155	0	36	577	0	300	105	236	191	1321	483	3481	516	737	115	99	131	20	0	8847									
海士町生産額	90	280	118	276	0	312	0	59	1484	0	614	138	1663	229	1499	1092	4681	623	1108	205	236	435	45	24	15216									

産業連関表に関する詳しい解説は、総務省のHPに記載されています。
 総務省HP：
https://www.soumu.go.jp/toukei_toukatsu/data/io/index.htm

産業連関表の見かた

●上から下へ見る

産業連関表では、上から下へのタテ方向の並びを「列」といいます。各部門が生産活動をするのに必要な原材料、燃料、労働力などへの支払の内訳が示されています。
 例えば、1次産業の「耕種農業」は生産活動をするために、同じ1次産業の「林業・農業サービス」部門から7百万円のお金を支払い商品やサービスを購入しています。次に、2次産業の「海士町に存在しない二次産業」から20百万円お金を支払い商品やサービスを購入しています。「耕種農業」が各部門へ支払ったお金の総額は、「内生部門計」の53百万円です。
 また、「耕種農業」が雇用者へ支払った給料や賃金などは、「雇用者所得」26百万円です。そして、「耕種農業」が1年間で生産した生産額は、「海士町生産額」90百万円となります。

●左から右へ見る

ヨコ方向の並びを「行」といいます。各部門が生産した商品やサービスの販売先の内訳が示されています。例えば、3次産業の「商業」は、1次産業の「耕種農業」へ5百万円の商品等を販売しています。次に3次産業の「建設」へは34百万円の商品等を販売しています。各部門へ販売した総額は、「内生部門計」269百万円です。
 表の右側にある、「移輸出」とは、島の商品を島外へ販売した金額になります。逆に、「移輸入」は、島の外から商品やサービスを仕入れるために支払った金額（漏れた金額）となります。
●建設と公務について
 産業連関表のルールで、「建設」と「公務」については、「移輸出」「移輸入」は無いものとして計算することになっていますので、金額がともに0百万円となっています。